

ご近所のお医者さん

□
667
□

東大阪生協病院
小児科部長

春本常雄さん

—東大阪市

子どもたちが夢を育む環境

国連児童基金(ユニセフ)が2020年9月に発表した調査では、日本の子どもたちの精神的幸福度が38カ国中37位という最下位に近い結果でした。また、若年者の自殺も増え、若年層の死因のトップは、以前は「不慮の事故」でしたが、現在は「自殺」に取って代わって久しい。

さらに、出生率も低下しています。日本の子どもたち、そして、若者たちは、将来に向けて夢を持ちきれないのではないのでしょうか。生きて

自分たちで決める体験を

いくたくましさや技能を身につけていないのではないのでしょうか。一方、夢は外から与えられるものではなく自分たちでつくりあげるものだというのも、おそらく真実に近いのではと思います。

自分たちのことは自分たちで決め、

周囲の環境を少しずつ変えていく体験を重ねることで成長する。それが自信

につながり、原動力となって将来への夢を持てるのではないのでしょうか。歴史を変え創ってきた時代には、そのよ

うな情熱的な若者たちの集団があったのでは?と推測します。

もう一つ、小児科医師として感じることをお話しします。子どもを産み育てるとい

値を高めます。子どもにとっては、

かけがえない母親(父親)なのです

から。子育ては大変な「重労働」で

すが、周りの多くの人たちと一緒に

その大仕事をやっていく中で、子ど

もから教えられ、親として大人として

成長します。親自身の存在意義を十二

分に感じ、子どもとともに夢を持て

るようになります。その延長線上で、

子どもたちが幸せに暮らせるよう

なります。

さて、小生自身、何ができるか考えました。人生のちょっとだけ先輩として、子どもたちに、子どもたち自身が主人公の場を提供すること、楽しいと思う世界を体験させてあげること――。それらが夢への原動力になれば、このう

えなくうれしいです。

(府医師会小児の医療的ケア検討委員会委員)

環境・社会を創って
いきたいと
思うように

